

防災訓練にエンタメ性を 吉備総合電設と能美防災がVR災害臨場体験

主軸の電気工事業とともに、防災事業に力を入れる株吉備総合電設（鳥取市田園町三十一〇一、山下議代表取締役）。



実際の現場に居合わせたかのような臨場感

県への防災グッズの贈呈をはじめ、地域を巻き込んだ事業を精力的に進めている。そんな同社が8月30日、大手防災メーカーの能美防災㈱（東京都千代田区）が開発したVRによる災害臨場体験（「混乱のオフィス」）の社内体験会を実施した。

このコンテンツは、地震災害からの脱出をテーマにしたゲームソフト「絶体絶命都市シリーズ」を開発する株グランゼーラ（石川県金沢市）と能美防災が共同開発。その能美防災協力のもと、吉備総合電設社内の体験会が実現の運びとなつた。能美防災の佐々木聰文主査は「なかなか防災訓練への意欲が高まらない」という現状があります。この背景には訓練がとつつきにくい、自分には関係がないといった意識があります。このコンテンツによって訓練にエンタメ性を持たせ、やってみたいという気持ちを想起させたい」とし、この先の発展性も見込んでいると話す。吉備が体験できる。吉備現在、同コンテンツでは5つのシーン

人気のファミレス「サイゼリヤ」が出雲に他と違う圧倒的な安さの理由とは

安くて美味しいと評判で全国に1074店舗を展開する、イタリアンファミリーレストラン「サイゼリヤ」が12月15日、ゆめタウン出雲内にオープンする。現在、内装工事が進んでいる。現在、内装工事が進んでいる段階だ。

鳥取県では今年1月、イオン山陰1号店がオープン。以降、

専用のヘッドマウントディスプレイとコントローラーを装着し、椅子に座つて訓練は行われる。高スペックのPCのみで動作するため、映像は非常にリアルで、没入感が凄まじい。

さらに、振動と音声はVR映像と連動しており、参加者は実際に机の下に頭を隠すなど、VRだということを忘れてしまうほどの臨場感だつたようだ。

体験を終えた利用者からは「必死になる」、「面白い」と高評価があったそうだ。

同コンテンツは能美防災の出火の様子は本物の消防隊員からもかなり再現性が高いとの評価があつたそうだ。

吉備総合電設の山下社長によると、同社では今後も防災にまつわる様々な動きを活発化する上で利用できる。

吉備総合電設の山下社長によると、同社では今後も防災にまつわる様々な動きを活発化する上で利用できる。

人を想う。未来を創る。
enetopia